

2021年3月

各 位

公益財団法人 日本生命財団

2021年度 ニッセイ財団 高齢社会助成公募のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本生命財団の活動につきまして、格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。

本財団は、「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに高齢社会「地域福祉チャレンジ活動助成」と「実践的研究助成（「実践的課題研究助成」、「若手実践的課題研究助成」）を実施しています。

2021年度も別添の「募集要項」のとおり公募を行いますので、社会福祉協議会や福祉施設、NPO法人へ広くご紹介いただければ幸いです。

末筆になりましたが、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬 具

【募集の概要】

	I. 地域福祉チャレンジ活動助成	II. 実践的研究助成 (実践的課題研究・若手実践的課題研究)
助成内容	地域包括ケアシステムの展開と深化につながる5つのテーマのいずれかに該当する活動（裏面参照）	「高齢社会助成対象分野・テーマ」に対する課題を明確にした実践的研究（裏面参照）
助成期間	2021年10月から2年	2021年10月から 実践的課題研究：2年 若手実践的課題研究：1年*
助成金額	最大400万（1年最大200万）	実践的課題研究：最大400万 （1年最大200万） 若手実践的課題研究：総額約700万 （1件最大100万）
助成予定 件数	4団体程度	実践的課題研究：2件程度 若手実践的課題研究：7件程度
募集締切	2021年5月31日（月） 消印有効	2021年6月15日（火） 消印有効
助成決定	本財団選考委員会にて選考の上、9月上旬の理事会で決定	

*2017年度より若手実践的課題研究の助成対象者の年齢を45才未満に拡大しています。

※詳細は「募集要項」をご覧ください。

【募集要項、申請書、申請の手続】

本財団ホームページをご確認ください。

<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

【お問合せ先】

〒541-0042 大阪府中央区今橋3丁目1番7号 日本生命今橋ビル4階
日本生命財団 高齢社会助成 事務局
TEL 06-6204-4013

当文書は各都道府県、政令指定都市の高齢者福祉ご担当部署、全社協、各都道府県・政令指定都市社協、学会、全国の各大学の皆様にお送りさせていただいています。

地域福祉チャレンジ活動助成のテーマ

地域包括ケアシステムの展開と深化につながる次の5つのテーマのいずれかに該当する活動です。

1. 福祉施設や福祉・介護・保健・リハビリテーション専門職と地域住民の協働によるインフォーマルなサービスづくりへ向けてのチャレンジ活動
2. 認知症(若年性認知症を含む)の人、家族と地域住民がともに行う安心、安全に暮らせる地域づくりへ向けてのチャレンジ活動(本財団恒久分野)
3. 人生の看取りまで含む生活支援*につながる実践へ向けてのチャレンジ活動
*日常生活支援、身元保証、死後対応等
4. 高齢単身者、家族介護者を含めた複合的な生活課題に対する(家族への)支援につながる実践へ向けてのチャレンジ活動
5. 高齢者、障がい者、子ども等全世代交流型の活動・就労の機会提供、社会参加づくりへ向けてのチャレンジ活動

実践的研究助成のテーマ

- 第1分野：「いつまでも地域で高齢者が安心した生活が送れるまちづくり
(地域包括ケアシステム)の推進」
在宅サービス(医療、ケア、住宅等を含む)の推進、高齢者を支える介護・看護・医療連携システムの開発、実践等をテーマとします。
- 第2分野：人生100年時代の「高齢者の生きがい・自己実現・就業支援」
人生100年時代のライフサイクル構築への取組、高齢者ボランティアの養成等をテーマとします。
- 第3分野：「認知症の人が地域で安心した生活ができるまちづくり」
(本財団恒久分野)
本財団で長く取り組んでいる分野であり、認知症ケアへ向けて医療と介護の連携、認知症の人の権利擁護の推進等をテーマとします。
- 第4分野：「新型コロナ感染下における高齢者ケアの実践」(2021年度特別分野)
感染対策のあり方、住民や専門職の連携・人材養成、施設入居者と家族・地域のつながり、ICTの活用等をテーマとします。